

令和6年度 横浜市幼保小連携地区事業

上飯田地区 活動報告（北上飯田保育園・飯田北いちょう小学校）

～テーマ～

「心つながり 笑顔ひろがり 世界へはばたく I♡Iなかよしプロジェクト」

推進テーマについて

心と笑顔が広がる幼保小の交流と連携

スムーズな接続を図るために、お互いを知ろう。

- ・ コロナ禍で途絶えてしまっていた交流を再開する。
- ・ 小学校見学だけでなく、幼稚園や保育園の見学もすることでお互いの活動を知る。
- ・ 今年度は、できる交流を重ね、成果と課題を明確にし、来年度からの交流の土台をつくる。

今年度の推進内容

- ・ 幼保小連携推進委員会をもち、連携を確認し、年間計画を立てる。
- ・ 合同の職員研修や学校、保育園見学を通して職員同士の関係をつくる。
- ・ 園児・児童の交流を重ねる。
- ・ 成果と課題をまとめ、次年度の推進計画へ生かす。

令和6年度の重点課題 「幼保小それぞれの活動を知ろう」

幼稚園・保育園・小学校それぞれの場所を知っているが、実際にどんな活動をしているかはなかなか知る機会がない。例えば、幼稚園・保育園で当たり前前のも小学校では当たり前でないというようことはよくある。幼稚園・保育園の園児が戸惑うことなく安心して小学校生活をスタートすることができるように、まず、教員側が互いの活動について知る必要があると考えた。教員同士の交流を行う中で、どんな取り組みを行うかを精選し来年度の活動に繋げていく。また、園児と児童の交流について、各担任が、どの教科・活動で交流を行っていくことができるかを意識をすることで交流の場を広げることができた。

多国籍の児童が多い地域であること、学校規模が小さいことなどを生かし、「アットホームな交流」を目指して行った。今年度は、1年生から5年生の児童が幼稚園との交流を行った。

取組① 職員合同研修会



夏季職員研修に北上飯田保育園の先生が参加した。
合同で研修を行うことで、共通理解を図ることができた。

取組②

保育園と小学校に同じものを「絵本・カプラ」

絵本

①

絵本

②



「保育園や幼稚園にあったものが、小学校にもある」ことは、子ども達の安心感に繋がると考えた。

今年度は、小学校にある絵本、幼稚園にあるカプラを購入した。

取組③ その他

- ・ 毎月、北上飯田保育園の園児が「園だより」を届けた。
- ・ 保育園と小学校、互いの運動会を見に行った。
- ・ 保育園・幼稚園の先生が、小学校の参観日・研究授業に参加した。

1年生の交流

「くじらぐも」音読劇鑑賞

国語の学習でした「くじらぐも」を飯田北いちよう小学校一年生バージョンで劇にしました。出迎えや案内もかっこよくすることができました。



2年生の交流 「もっとしりたい 町たんけん」

生活科の学習で、北上飯田保育園といちよう保育園へ行きました。

椅子や、遊具、ほんの2年前には使っていたのに「小さいなあ。」と驚いていました。



一緒に遊んだよ



1歳の子が
ファスナーや
マジックテープ
で遊ぶのよ。



園歌を聞いてね



学校で心配な
ことある？



3年生の交流

幼稚園・保育園のお友達を4年生の交流会場まで案内しました。途中、3年生が図工で作った作品で遊びました。



4年生の交流

図工で「ようこそ！フルーツバスケットタウンへ」を学習しました。4年生児童が、幼稚園・保育園の児童を段ボールで作った町を案内しました。園児の目線に合わせて話をする姿が見られました。



実際の切り方は動画でチェック！



5年生の交流

学校案内をしたり、絵本の読み聞かせをします。
幼稚園・保育園の子たちは、どんな本が好きなのか考えて本を選びました。
どんな交流になるのか楽しみです。



成果と課題

<成果>

- ・ コロナ禍で中断していた幼稚園・保育園との交流をゼロから立ち上げることができた。
- ・ 合同の研修会を行うことで、幼保小それぞれを意識することができた。
- ・ 職員による保育園見学をすることで、入学後の子どもたちの心に近づくことができた。
- ・ 年度途中で、交流をしたいと希望をした幼稚園・保育園もあり、今年度は3つの園と交流をすることができた。
- ・ 幼稚園・保育園・小学校それぞれの先生が互いに歩み寄り、交流について意思疎通を図ることができた。

成果と課題

< 課題 >

- ・ 保育園・幼稚園交流が一部の教員だけになってしまったので、来年度はもっとたくさんの教員の見学の機会をもつようにする。
- ・ 交流する園を増やす。
- ・ 交流が後半の時期に重なってしまったので、来年度は時期が重ならないようにしたい。
- ・ 各学年の年間計画の中に交流を入れ、計画的に交流をする。